

Notrufdienst zur Verfügung, über den Deutsche in Westjapan rund um die Uhr Rechtsbeistand erhalten können. Die Konsulatsverwaltung schließlich verwaltet das Personal, die Dienstabläufe innerhalb des Generalkonsulats und die Finanzen.

【総領事が考える日独関係のこれから】

これからの日独関係を考えるにあたって総領事は、とりわけ西日本の重要性を認識しておられます。総領事館の歴史についてお話ししましたように、古くから神戸に始まり、西日本は日独交流の中心地でありました。また戦争や震災などの数々の困難を乗り越え、西日本では両国の密接で深い関係を築き上げることができました。総領事はこうした関係を更に有益なものとなるよう強化することが大切であると考えておられます。

そうした中で総領事は、様々な民間の団体が日独交流に果たす大きな役割を重視しておられます。例えばいくつかの教育機関の間での文化・学術交流が期待されます。ドイツと日本は、後期高齢化社会の進展や人工知能の活用、環境問題への取り組みなど多くの面で共通の課題を抱えております。これらの分野における両国の協力関係は、お互いにとって非常に有益です。

また一人の人間としてドイツ人と接する個人間の交流が一層拡大することも大切なことであると考えておられます。その際に両国各地にある日独協会や日独協会が大きな役割を果たすでしょう。国同士の交流は、草の根の人間同士の触れ合いがなくては成り立ちません。お互いに喜びを共有し、時に議論を戦わすからこそ、人種を超えて相手を理解し、真の融和的な関係を築くことができ、その一つ一つの集積が日独交流を確固として支え続けるのです。総領事はこうした日独関係がこれからも継続していくことを願っておられます。

【Der Generalkonsul zur Zukunft der Beziehung zwischen Japan und Deutschland】

Dem Generalkonsul zufolge spielt Westjapan eine wichtige Rolle für die künftigen japanisch-deutschen Beziehungen. Wie erwähnt, begann der deutsch-japanische Austausch mit den ersten deutschen Händlern und der ersten deutschen Vertretung in Japan in Kobe. Westjapan war damals das Zentrum des japanisch-deutschen Austauschs. Darüber hinaus konnte durch die Überwindung vieler Schwierigkeiten wie des Krieges und der Erdbebenkatastrophe eine enge und tiefe Beziehung zwischen den beiden Ländern in Westjapan aufgebaut werden. Der Generalkonsul ist der Ansicht, dass es wichtig ist, diese Beziehungen zu stärken.

Vor diesem Hintergrund legt der Generalkonsul wert auf die wichtige Rolle, die die verschiedenen privaten Organisationen im japanisch-deutschen Austausch spielen. So soll beispielsweise der kulturelle und akademische Austausch unter Beteiligung zahlreicher Bildungseinrichtungen gefördert werden. Deutschland und Japan stehen

in vielerlei Hinsicht vor gemeinsamen Herausforderungen wie etwa dem Phänomen der alternden Gesellschaft, dem Bedarf nach Einsatz künstlicher Intelligenz und dem Umgang mit Umweltproblemen. Die Zusammenarbeit beider Länder auf diesen Gebieten ist von großem gemeinsamen Nutzen, so der Generalkonsul.

Auch der Austausch zwischen japanischen und deutschen Einzelpersonen soll weiter unterstützt werden. Dabei sollen die Deutsch-Japanischen Gesellschaften in beiden Ländern eine wichtige Rolle spielen. Der Austausch zwischen den Ländern kann nicht ohne Kommunikation zwischen Menschen selbst erreicht werden. Regler Austausch ermöglicht den Aufbau gegenseitigen Verständnisses sowie harmonischer Beziehungen und Freundschaften. Der Generalkonsul ist zuversichtlich, dass die japanisch-deutschen Beziehungen vor allem auch durch diesen Austausch weiter gefördert werden und möchte Organisationen unterstützen, die sich für diesen Austausch einsetzen.



この度はお忙しい中、お時間を頂きありがとうございました。ケーラ一総領事に改めて御礼を申し上げます。An dieser Stelle möchten wir uns noch einmal herzlich bei Herrn Generalkonsul Dr. Köhler für das Gespräch bedanken!



ドイツ総領事館が入居している「梅田スカイビル」

新入会員紹介

(敬称略)

栗生 泰介、一瀬 留美、大橋 保司、小谷 隆光、城戸 咲乃、寺田 晶子、西口 美廣、土師 さおり、東良 徳一、福田 聖寿、藤 三郎、吉成 孝夫、Gehard Parzinger、Manfred Ringhofer

栗生泰介

皆様はじめまして、この度入会致しました栗生泰介(あわおたいすけ)と申します。出身と会社は兵庫県尼崎市ですが、東京都に在住しております。

初めてドイツを訪れたのは21年前で、大学の研修旅行でBerlinとMünchenを訪れました。それぞれわずか2泊ずつくらいだったので、いつかまた行きたいと思いつつ何年も経ち、「もう行くのは難しいかな」と思っていました。

ところが、転職先のドイツ系自動車部品メーカー勤務時代の2010～12年にStuttgartに赴任する機会を幸運にも得ることができました。実際に向こうで生活と仕事を体験することにより、ドイツの文化や人々の考え方に触れ、私のそれまでの価値観が大きく変わりました。と同時に、食文化など日本の良さも再認識致しました。

協会との出会いは昨年末に参加させて頂いたSprachtischです。折角ドイツで生活したので、ドイツ語を思い出し更には向上させたいと思って参加しましたが、参加者の皆さんがとてもフランクで楽しく、より深く関わらせて頂こうと入会させて頂きました。大阪万博も控えておりますし、微力ながら関西の国際化に少しでも貢献できれば幸いです。

昨年末に決して出来は褒められたものでありませんが、何とかドイツ語検定二級に合格できました。先日のSprachtischでも宣言してまいりました通り、来年準一級に合格するのが目標です。仕事について少し書かせて頂きますと、現在は尼崎市の園田というところでシェアハウスを運営しております。ドイツ人を始めとして外国人の方にどんどん来てほしいと思っておりますので、もしお部屋を探されている方、あるいはお知り合いがいらっしゃいましたら是非お声掛けください。見学のみのご要望も大歓迎です。趣味はゴルフと野球、また息子と一緒に上達するために近年スキーとサッカーもやっております。野球はもう体がついていきませんが、ゴルフは今最も力を入れているスポーツです。もしラウンドする機会がありましたらどうかお誘いください！この会報が発行される頃、丁度ドイツに滞在している予定です。皆様、どうぞよろしくお願い致します！

小谷隆光

ドイツ語との出会いは第二外国語として選択したことです。これはあくまでも義務的に選択したのですが、途中の長いブランクはありますが長い付き合いになりました。五十代半ばにたまたま書店で手にしたドイツ語の本がきっかけで再びドイツ語の勉強を始めました。初めはラジオでやっていましたが、断片的な感じだったのでテキストに取り組みむことにしました。そうすると自分の語学力の程度が知りたくなり、ドイツ語検定試験を受け、二級まで辿り着きました。

昨年末に第二の勤めも退職しまして、これに先立って当協会に入会しました。以前から二十世紀の「東西冷戦時代とその崩壊」に強い関心があり、その原因や同時代の人々の行動や考えの変化を研究したいと思っていました。一人の人間が人生の中で世界史的大事件に遭遇する事は極めて衝撃的で、更にこの時代がリアルタイムに映像で伝えられた訳ですから。他方、東アジアには冷戦構造が残っており身近な問題でもあります。その中で過去の歴史を学んで東アジアの将来をどれ程見通せるか挑戦してみたい気もします。

学生時代は、ローザ・ルクセンブルクを研究していました。そのためにクラブ活動も「ドイツ語研究会」にいました。只、講義やゼミでもまたクラブ活動でも一緒に研究できる仲間を見つけられないまま卒業しました。せっかく退職して時間が出来たので、冷戦時代やその崩壊について多くの書籍と取り組みたいと思います。もし、中欧、東欧の現代史にご関心をお持ちの方々と一緒にドイツ語で研究出来れば、或いはドイツ語で関連書籍をご紹介頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

城戸咲乃

この春に同志社大学理工学部を卒業しました。城戸咲乃と申します。大学からの派遣で1年間、ドイツに留学したことをきっかけに、帰国後もドイツと繋がりをもち続けたいと日独協会に加入させていただきました。私は、カールスルーエ工科大学(Karlsruher Institut für Technologie)という大学で1年間、勉強する機会をいただきました。カールスルーエ工科大学は、自動車工学の父、カール・ベンツを輩出した程に、自動車工学に力を入れている大学です。将来自動車設計に携わりたいと思っていたために、なんとなく志願したこのドイツ留学は、私をなによりも精神面で大きく成長させてくれました。

はじめに、自分の専門に自信を持てるようになりました。日本では、理工学部所属する女性が少ないためか、いつも珍しいものを見る目で見られることにうんざりしていました。しかし、ドイツの留学先に

